英文法 L01 第 18 講 現在完了・経験と継続

学習目標

現在までの経験と、過去から現在まで続く状態を区別し、現在完了形と時の表現を正しく選ぶことができる。

1. 現在完了形が表す経験と継続

経験と継続

現在完了形は、**have / has + 過去分詞**で作る。過去の出来事や状態を、現在と結び付けて表す形である。

現在完了形の「経験」は、今までに何かをしたことがあるか、何回したことがあるかを表す。

現在完了形の「継続」は、過去に始まった状態が現在まで続いていることを表す。

I have visited Kyoto three times.（私はこれまでに京都を 3 回訪れたことがある。）

I have lived here since 2019.（私は 2019 年からずっとここに住んでいる。）

どちらも過去から現在までを見ているが、表している内容は異なる。1 つ目は、今までに京都を訪れた回数を述べている。2 つ目は、2019 年に始まった居住が現在も続いていることを述べている。



図 1　経験の回数と現在まで続く状態

経験と継続の時間の捉え方

上段の EXPERIENCE は「経験」、下段の CONTINUING STATE は「状態の継続」を表す。PAST は過去、NOW は現在を指す。

©ミライコーチング

上段の 3 つの点と Three visits before now は、これまでに京都を訪れた 3 回の出来事を表す。下段の連続した線は、2019 年から現在まで同じ場所に住み続けている状態を表す。since 2019 = starting point は「2019 年から：開始時点」、Still living here now は「今もここに住んでいる」という意味である。

2. 経験を表す現在完了形

経験を表す形

経験を表す現在完了形では、**have / has + 過去分詞**を使って「これまでに〜したことがある」と表す。

経験の有無を尋ねるときは ever、経験が一度もないことを表すときは never を使える。また、once、twice、three times などを使うと、経験した回数を示せる。

経験の有無と回数

Have you ever visited Nara?（あなたはこれまでに奈良を訪れたことがあるか。）

ever は「これまでに」という意味で、経験を尋ねる疑問文などに使う。

I have never visited Nara.（私はこれまでに奈良を訪れたことが一度もない。）

never は「一度も〜ない」という否定の意味を持つ。そのため、通常は never の前に not を重ねない。

I have visited Nara once.（私はこれまでに奈良を 1 回訪れたことがある。）

I have visited Nara twice.（私はこれまでに奈良を 2 回訪れたことがある。）

I have visited Nara three times.（私はこれまでに奈良を 3 回訪れたことがある。）

once は 1 回、twice は 2 回、three times は 3 回を表す。回数を示す表現によって、今までに何度経験したかを伝えられる。

have been to の意味

have been to

have been to + 場所は、「その場所に行ったことがある」という経験を表す基本表現である。

been は be 動詞の過去分詞であり、have / has の後ろに置く。

I have been to Kyoto twice.（私はこれまでに京都へ 2 回行ったことがある。）

この文が述べているのは、今までに京都へ行った経験が 2 回あるということだ。現在、京都にいることを表しているわけではない。

I am in Kyoto now.（私は今、京都にいる。）

こちらは現在いる場所を表す文であり、過去に京都を訪れた経験の回数は示していない。

経験と現在の居場所を混同しない

have been to は、ある場所を訪れた経験を表す。今いる場所を述べたいときは、be 動詞と in などを使って現在の状態を示す。

「行ったことがある」と「今そこにいる」は、区別して考える必要がある。

3. 継続を表す現在完了形

継続を表す現在完了形

過去に始まった状態が現在まで続いているとき、現在完了形を使って「ずっと〜している」と表せる。

継続を表す際には、状態が続いている長さを示す for や、状態が始まった時点を示す since をよく使う。

I have known her for five years.（私は彼女と知り合って 5 年になる。）

She has lived here since 2020.（彼女は 2020 年からずっとここに住んでいる。）

1 つ目は知り合いである状態が 5 年間続いていることを、2 つ目は 2020 年に始まった居住が現在も続いていることを表している。

for と since の使い分け

表現	表す内容	例	意味
for	継続している期間の長さ	for five years	5 年間
since	継続が始まった時点	since 2020	2020 年から

期間の長さか、開始時点か

for の後ろには、five years や two months のように期間の長さを表す語句を置く。

since の後ろには、2020 や last Monday のように、開始時点を表す語句を置く。

どちらも継続を表す現在完了形と組み合わせることができるが、示している時間の情報が異なる。

We have lived here for ten years.（私たちはここに 10 年間住んでいる。）

We have lived here since 2016.（私たちは 2016 年からずっとここに住んでいる。）

最初の文は住んでいる期間の長さを、次の文は住み始めた時点を示す。どちらも現在まで住み続けていることを表している。

状態の継続と動詞の形

know（知っている）、live（住んでいる）、own（所有している）などは、状態を表す動詞として使われる。

これらの状態が過去から現在まで続いている場合、基本の現在完了形で継続を表せる。

I have known Ken since 2021.（私は 2021 年からずっとケンと知り合いだ。）

My uncle has owned this car for six years.（私のおじはこの車を 6 年間所有している。）

know の過去分詞は known、own の過去分詞は owned である。継続している状態を表すときも、have / has の後ろには過去分詞を置く。

継続している状態を表すとき

know のように状態を表す動詞は、通常、その状態を進行形では表さない。

状態の継続は、have known や have lived などの基本の現在完了形で表せる。

4. 例題

1

次の英文について、空所に入る最も適切なものを A〜D から 1 つ選べ。

My cousin (　) to Fukuoka twice so far.

A. has been

B. have been

C. has be

D. has went

解答・解説

正解：A

Pair 1

My cousin has been to Fukuoka twice so far.

私のいとこはこれまでに福岡へ 2 回行ったことがある。
so far は「これまでに」、twice は「2 回」を表す。ここでは現在までの経験を述べるので、現在完了形を使う。

主語 My cousin は三人称単数なので has を選び、経験を表す has been to を完成させる。

A. has been：正解。主語に合う has と過去分詞 been を使い、経験を表す has been to の形になる。

B. have been：誤り。My cousin は三人称単数なので、have ではなく has を使う。

C. has be：誤り。has の後ろには過去分詞が必要である。be の過去分詞は been である。

D. has went：誤り。went は go の過去形であり、過去分詞ではない。この文では、経験を表す has been to を使う。

©ミライコーチング

2

次の英文について、空所に入る最も適切なものを A〜D から 1 つ選べ。

We (　) in this house since 2020, and we still live here.

A. lived

B. have lived

C. has lived

D. have live

解答・解説

正解：B

Pair 1

We have lived in this house since 2020, and we still live here.

私たちは 2020 年からずっとこの家に住んでおり、今もここに住んでいる。
since 2020 は、住み始めた時点を示している。さらに、we still live here から、現在も住んでいることが分かる。

そのため、過去から現在まで続く状態を表す現在完了形が必要である。主語 We に合わせて have を使い、live の過去分詞 lived を続ける。

A. lived：誤り。過去形だけでは、この文で求められている現在までの継続を表せない。

B. have lived：正解。have + 過去分詞によって、2020 年から現在まで住み続けている状態を表せる。

C. has lived：誤り。主語 We に対しては、has ではなく have を使う。

D. have live：誤り。have の後ろには動詞の原形 live ではなく、過去分詞 lived を置く。

5. 演習問題

次の各問について、空所に入る最も適切なものを A〜D から 1 つ選べ。

1

Rina has visited Australia (　) so far: in 2019, 2022, and 2025.

A. once

B. twice

C. three times

D. never

2

I have (　) eaten seafood in my life, not even once.

A. ever

B. never

C. already

D. still

3

Have you (　) to Okinawa before?

A. been

B. be

C. being

D. went

4

Ken has watched that film (　) this year: in April and in August.

A. never

B. once

C. three times

D. twice

5

We have known each other (　) five years, and we are still friends.

A. since

B. ago

C. for

D. from

©ミライコーチング

6

My aunt has lived in Kobe (　) 2016, and she still lives there.

A. for

B. ago

C. during

D. since

7

現在完了形の文として完成させるとき、空所に入る最も適切なものを選べ。

My grandfather (　) this house for twenty years, and he still owns it.

A. has owned

B. have owned

C. has own

D. owned

8

I have (　) Aya since elementary school, and we are still friends.

A. know

B. known

C. knew

D. knowing

演習問題の解答・解説

1

正解：C

Pair 1

Rina has visited Australia three times so far: in 2019, 2022, and 2025.

リナはこれまでにオーストラリアを 3 回訪れたことがある。2019 年、2022 年、2025 年の 3 回である。
2019 年、2022 年、2025 年の 3 回訪れているため、回数を表す three times が適切である。

A. once：誤り。once は「1 回」を表すが、訪問した年は 3 つ示されている。

B. twice：誤り。twice は「2 回」を表すため、示された訪問回数と一致しない。

C. three times：正解。「3 回」という意味で、文中の訪問回数と一致する。

D. never：誤り。never は「一度も〜ない」という意味であり、実際に訪問したことを示す文脈と矛盾する。

2

正解：B

Pair 1

I have never eaten seafood in my life, not even once.

私はこれまでの人生で魚介類を食べたことが一度もない。
not even once は「一度さえない」という意味である。経験がまったくないことを示すため、never が適切である。

A. ever：誤り。ever は経験を尋ねる疑問文などで使う。ever には否定の意味がないため、「一度もない」という内容は表せない。

B. never：正解。「一度も〜ない」という意味を持ち、not even once と一致する。

C. already：誤り。already は「すでに」という意味であり、一度も経験していないという内容と矛盾する。

D. still：誤り。still は「まだ」「依然として」という意味を表すが、この位置で経験が一度もないことを示す語にはならない。

3

正解：A

Pair 1

Have you been to Okinawa before?

あなたは以前に沖縄へ行ったことがあるか。
現在までに沖縄へ行った経験があるかを尋ねている。have been to は「〜へ行ったことがある」という経験を表す。

A. been：正解。have の後ろに be の過去分詞 been を置くことで、have been to の形になる。

B. be：誤り。be は原形であり、現在完了形の have の後ろには置けない。

C. being：誤り。being は現在分詞であり、ここで必要な過去分詞ではない。

D. went：誤り。went は go の過去形であり、have の後ろに置く過去分詞ではない。

4

正解：D

Pair 1

Ken has watched that film twice this year: in April and in August.

ケンは今年、その映画を 4 月と 8 月の 2 回見た。
4 月と 8 月に 1 回ずつ見ているので、今年の視聴回数は 2 回である。

A. never：誤り。「一度も〜ない」という意味になり、4 月と 8 月に見たという内容と矛盾する。

B. once：誤り。once は「1 回」であり、示された 2 回の視聴と一致しない。

C. three times：誤り。「3 回」を表すため、示された 2 回の視聴と一致しない。

D. twice：正解。「2 回」を表し、4 月と 8 月の視聴回数に一致する。

5

正解：C

Pair 1

We have known each other for five years, and we are still friends.

私たちは知り合って 5 年になり、今も友達同士だ。
five years は「5 年間」という期間の長さを表す。期間の長さには for を使う。

A. since：誤り。since の後ろには開始時点を置く。five years だけでは開始時点を示していない。

B. ago：誤り。ago は「〜前に」という意味で使うが、ここでは現在まで続く期間の長さを示す必要がある。

C. for：正解。for five years で「5 年間」を表し、現在まで続く関係を示せる。

D. from：誤り。from five years という形では、この文で求められる継続期間を自然に表せない。

6

正解：D

Pair 1

My aunt has lived in Kobe since 2016, and she still lives there.

私のおばは 2016 年からずっと神戸に住んでおり、今もそこに住んでいる。
2016 は住み始めた時点を表している。過去の開始時点から現在まで状態が続いているので、since を使う。

A. for：誤り。for の後ろには期間の長さを置く。2016 は年を表すため、for と組み合わせられない。

B. ago：誤り。ago は「〜前に」を表す語であり、ago 2016 という形にはならない。

C. during：誤り。during 2016 は「2016 年の間に」という意味であり、2016 年から現在まで続いていることを示す表現にはならない。

D. since：正解。since 2016 で「2016 年から」を表し、現在まで住み続けている状態と一致する。

7

正解：A

Pair 1

My grandfather has owned this house for twenty years, and he still owns it.

私の祖父はこの家を 20 年間所有しており、今も所有している。
for twenty years は「20 年間」を表す。さらに、he still owns it から、現在も所有していることが分かる。主語 My grandfather は三人称単数なので、has owned を選ぶ。

A. has owned：正解。has + 過去分詞で、20 年間続いている所有状態を表せる。

B. have owned：誤り。My grandfather は三人称単数なので、have ではなく has を使う。

C. has own：誤り。has の後ろには動詞の原形 own ではなく、過去分詞 owned を置く。

D. owned：誤り。主語の後ろに owned だけを置くと過去形の文になり、設問で求められた現在完了形にはならない。

8

正解：B

Pair 1

I have known Aya since elementary school, and we are still friends.

私は小学生の頃からアヤと知り合いで、今も友達同士だ。
since elementary school は、小学生の頃から現在まで知り合いである状態が続いていることを示す。know は状態を表す動詞であり、継続を表す基本の現在完了形では have known を使う。

A. know：誤り。know は原形であり、have の後ろに必要な過去分詞ではない。

B. known：正解。known は know の過去分詞であり、have known で現在まで続く状態を表せる。

C. knew：誤り。knew は know の過去形であり、have の後ろには置けない。

D. knowing：誤り。knowing は現在分詞であり、現在完了形で必要な過去分詞ではない。

©ミライコーチング